

令和 6 年度

早期医学体験実習 (EME) 報告書

新潟大学医学部医学科

早期医学体験実習（EME）報告書 目次

1. 令和6年度の早期医学体験実習（EME）を終えて	1
2. 学外施設実習報告書	3
3. 学生（実習生）報告書	97
4. 資料集	
・ 令和6年度 EME 時間割	375
・ 令和6年度 EME（早期医学体験実習）実習先 割振表	376
・ 令和6年度座席図	377
・ 令和6年度グループ班分け表	378
・ 令和6年度1年次コース「EME」シラバス	379
・ 令和6年度 EME ガイダンス資料	381



令和 6 年度 早期医学体験実習（EME）を終えて

新潟大学医学部長 佐 藤 昇

令和 6 年度の早期医学体験実習（EME）は多くの県内学外施設の関係者の皆様のご協力をいただき無事に終了することができました。医学部へ入学したばかりの 1 年次の皆さんにとっては、一般教養科目の履修が中心となっている中で、入学時の医学・医療に対する思いを改めて思い起こす良い機会となったことと思います。

今年度は県内 69 施設で 140 名の学生が 8 月 20 日から 8 月 22 日までの 3 日間お世話になりました。学生の皆さんは地域で医療を提供するクリニックから総合病院まで第一線の様々な病院で生の医療現場を体験することができたと思います。実習を通じて、患者さんとのコミュニケーションや他の医療専門職との協働の重要性などを感じ取ってくれたものと思います。また、実際の診療現場での課題や、医療従事者の皆さまの献身的な姿勢を目の当たりにして多くを学んでくれたことと思います。学生の皆さんは一つの施設で実習しましたが、各施設での実習終了後にはお互いに経験したことをグループさらには学年全体で共有することで、今後医学・医療に携わる者としての自覚や意識も一層高まったことと思います。この報告書で EME での学びを振り返り、今後の学びに生かしていくよう頑張ってもらいたいと思います。

医師会や各施設の関係者の皆様には改めて、学生に学びの機会を提供いただきましたこと厚く御礼申し上げます。今後も良き医療人材育成に向けて努力してまいりますので、引き続きご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

令和6年度 早期医学体験実習（EME）を終えて

医学教育センター 岡崎 史子

令和6年度の早期医学体験実習は令和6年8月19日（月）から8月23日（金）の日程で行われました。今年度は初めて学生全員を学外の実習施設にお願いさせていただきました。多くの先生方のご協力のおかげで無事に実習を修了することができ、本当にありがとうございました。

初日の月曜日はオリエンテーションを実施しました。施設実習に必要な医療安全、感染管理や、車椅子の取り扱い方法について学び、何より専門職の職場で学ばせていただくとはどういうことなのかを強調いたしました。また、実習では見学の機会も多いと思われ、「参与観察」という医療人類学の観察方法を学んでもらいました。観察したことはノートにすべて記録してくるよう申し渡して実習に行かせました。その後3日間、病院、診療所、クリニック等で実際の患者さんと接する機会を与えられながら臨床の現場で働く医師の姿を見て、多職種連携の様子を知り、新潟という地域について学ぶことで、今後、医師になる道筋へのモチベーションを高めることができました。最終日はそれぞれの経験を共有し、患者さんについて、多職種連携について、新潟という地域について、医学生が求められる立ち居振る舞いについて、グループ討議と全体発表を行いました。学生は患者さんが不安を抱えた存在であること、多職種連携では丁寧なコミュニケーションが求められることなど、核心をついた学びをしておりました。実習の満足度も非常に高く、こんな先生になりたい、という純粋な声が多く聴かれました。

今年も医師会をはじめ多くの先生方、施設関係者のみなさまより多大なご協力をいただきました。ここに実習の成果をまとめましたので、ご覧いただき、忌憚のないご意見を賜れば幸いです。

最後にご協力をいただいた69施設の皆様に改めて感謝を申し上げますと共に、今後も変わらぬご支援をお願い致します。

あがの市民病院での令和6年度第1年次早期医学体験実習（EME）報告書

2024年8月20日から21日まで、2名の第1年次の学生が、体験実習に来てくれました。

学生実習の目標は、「地域の医療で大切なことは、患者さんとその家族のことをよく知って、より身近な医療、健康アドバイザーでもあることである。在宅医療を行う。さらに医療スタッフと相互の情報交換を行ない、病院とその立地する地域に役立つことを考えよう」、「地域密着病院を体験し、現場スタッフと交流して、今後の学習に生かそう」です。

具体的方略は、「地域医療病院で、1日を過ごし、その間に、外来での診療の様子、入院患者回診、訪問診療・看護、臨床検査科での仕事、リハビリテーションなどを体験しよう」 ① 地域医療病院の外来の様子を観察しよう（受付でのスタッフの様子、待合室の構造・設備、患者さんの表情、会話、診察室での様子、自己紹介して患者さんと世間話をしよう） ② 各職場（臨床検査科、リハビリテーション科、薬剤科、放射線科等）の体験をしよう（各職場での様子を観察、どのような仕事で、どのような患者さんを対象にしているか、どのような作業が行なわれているか） ③ 挨拶をしよう（患者さん、家族、スタッフには挨拶は、必ず行ないましょう） ④ 訪問診療を体験しよう（在宅患者さんの年齢、背景などの特徴、在宅患者さんがかかえる主な健康問題を知ろう） ⑤ 地域密着病院のなすべきことはどのようなことか、地域密着病院で必要なヘルスプロモーション活動とは何か考えてみよう。

以上①から⑤までに関して最初にオリエンテーションし、実習してもらい、毎日夕方「振り返り」をしていただきました。

2人の学生の取り組みに関して、「しっかりあいさつできた。説明を良く聞いていた。わからないことに対して、積極的に質問し、目を見て話ができ。リハビリテーションの現場では、対象患者さんと話をし、コミュニケーションを取っていた。笑顔があり、その場を和やかにする雰囲気がありよかった。」と判断しました。

1年生で、医学知識が少ない中ではありましたが、外来での診療の様子、入院患者回診、症例検討会、訪問診療・看護、臨床検査科、薬剤科、リハビリテーション科などの現場を見て、聞いて、触れて、多くを感じ取り、知識としていくように感じたと感じました。

今回の経験を活かし、今後の勉学に役立ててくれると確信しています。

今後の活躍を期待しています。また来てくださいね。

早期医学体験実習（EME）の事後レポート

実習先： 済生会三条病院

学籍番号： _____

氏 名： _____

今回の早期医学体験実習では済生会三条病院にお世話になり、主に医療に従事している多職種について実際の医療現場を通して学んだ。多くの部署や施設などを見学させていだいたが、まずは印象に残ったことについて書いていこうと思う。

1つ目は病棟を回る看護師の方たちの仕事を見学したことだ。はじめに看護師は患者に最も近い存在だという説明を受けたが、実際に看護師の方の仕事を見てみると、本当にその通りだなと思った。看護師さんは患者さんの体調管理や治療を行っていた。加えて、介助など患者さんのサポートまで、患者さんに関した様々なことを幅広く行っていた。医師よりも密接に患者さんに関わっていると感じたため、看護師でないと気づけない事柄があるのではないかと感じた。そのため、看護師と医師の間で円滑なコミュニケーションを取り、些細なことでも報告し合える関係性を築くことが重要だと思った。実際の現場では、医師と看護師など医療従事者間の情報共有は電子カルテを通して効率的に行われていた。看護師さんは基本的に電子カルテに記入されている医師からの指示や引き継ぎ事項、その他の注意事項などを確認してから行動していた。そのため、電子カルテは医療従事者間の意思疎通にも、患者に適切な医療を届けるためにも不可欠なものであることがわかった。しかし、時に電子カルテに書かれている医師の指示が曖昧なことがあり、看護師さんがその医師に確認をしに行かないといけない場合があるという話を聞き、医師は電子カルテに指示を書くときはなるべく細かく的確なものにしなければならないと思った。自分が医師になったときには日常的な作業となりがちな電子カルテへの記入を看護師さんのことも考え丁寧に行いたいと考えた。さらに他の医療従事者が些細なことでも気軽に報告できるような医師になりたい。

2つ目は透析室を見学したことだ。透析室では患者さんの様子を見学したり、ダイアライザーなどの装置や患者さんについての説明を聞いたりした。透析患者は週3回、3～4時間程度の透析を受けなければならない負担になり相当大変なものだと思われるが、それを受ければ慢性腎不全を患いながらも日常生活をある程度の水準で送れるのはすごいなと思った。しかし、透析を受けない選択を取る患者さんも中にはいるので、患者さん個人の価値観や判断を尊重する必要があると思った。医師として医療に従事していると疾患や治療だけに目が行きがちになってしまうと思うが、それらはあくまでも患者さんの人生の一部に過ぎないので、患者さんの背景や人生まで考慮する視点を持ち合わせた医師になる必要があると実感させられた。さらに、透析を受けるのに自力では病院に通えない人は送迎サー

ビスを受ける必要があるという話を聞いて、福祉サービスとの連携も地域の包括的な医療のためにはとても大切だと思った。

その他にも内科外来では検査をした後には正確に記録することの重要性や記録する作業は医師の仕事で意外と大きな部分を占めていることを学び、NST 認知症カンファレンスでは医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、医療ソーシャルワーカーの多職種連携の様子が実際に見学できた。さらに、その他の様々な部署の仕事について学んだり、老健や特養や療育サポートセンターなどの施設を見学したり、訪問看護に同行したりした。これらのことは本格的に医学を学ぶようになる2年生以降、そして医師になった後では経験できないことなので、1年のときに医師以外の職業について実際の見学や体験を通して学ぶことができて本当に有意義な経験ができたと感じている。今回の実習で、医療は本当に多くの様々な職業に従事している人によって成り立っていて、福祉や地域と密接に結びついているということを学ぶことができた。この経験を将来医師になったときに活かせるように、今回の実習で学んだことや感じたことを心に留めておきたい。

令和 6 年度 EME 時間割

月日	午前		午後	
8/19(月)	旭町キャンパス・大講義室	8:30 全員集合（医学部大講義室） 8:30-9:00 ガイダンス：教員全員 ・医学部長挨拶 佐藤教授 ・学務委員長挨拶 川島教授 ・EME の概略説明 岡崎教授 9:00-10:00 <u>医療安全講義</u> （危機管理室：鳥谷部教授） 10:30-12:00 <u>感染管理講義</u> （感染管理部：茂呂准教授）	旭町キャンパス・大講義室	13:00-15:00 現場を観察する方法 岡崎教授 15:10-15:30 実習の注意事項確認 16:00 から車椅子取扱い講習の準備 16:30-17:00 <u>車椅子取扱い講習</u> （木村病院教授）
8/20(火) ～ 8/22(木)	施設実習		施設実習	
8/23(金)	旭町キャンパス・大講義室	9:00 全員集合（医学部大講義室） 9:00-11:00 ・グループワーク 11:00-12:00 ・個人記録提出用まとめ	旭町キャンパス・大講義室	13:00-16:00 ・ワールドカフェ ・全体発表、質疑応答 ・医学入門についての説明 講義終了後、解散 各自レポートを作成し、9 月 13 日 17 時まで に学務情報システムから提出

令和6年度EME（早期医学体験実習）実習先

施設名	施設名
尾崎クリニック※	三之町病院
堀川内科・神経内科医院	富永草野クリニック
新潟市民病院	済生会新潟県央基幹病院
大滝耳鼻科クリニック	湯沢町保健医療センター
川合クリニック	新潟県立十日町病院
鈴木内科小児科医院	県立中央病院
新潟中央病院	片貝医院
ロイヤルハートクリニック	生協かんだ診療所
おかむら内科下町クリニック	ほんだファミリークリニック
こばやし内科クリニック	さえき内科
プラーカ中村クリニック	高木内科クリニック
とくなが女性クリニック	草間医院
県立がんセンター新潟病院	悠遊健康村病院
万代メディカルクリニック	長岡中央総合病院
みどり病院	三島病院
新潟万代病院	吉田病院
新潟リハビリテーション病院※	長岡西病院
厚生連豊栄病院※	長岡療育園
下越病院	立川総合病院
山の下クリニック	長岡保養園
新潟医療生活協同組合 木戸病院	田宮病院
新潟臨港病院	原消化器内科医院
末広橋病院	木島整形外科
広川医院	新発田皮フ科
押木内科神経内科医院	笹川医院
こうなんfamilyクリニック	北越病院
亀田第一病院	新潟県立リウマチセンター
ゆきよしクリニック	あがの市民病院
済生会新潟病院	新潟県立津川病院
早川小児科クリニック	五泉中央病院
寺尾整形外科クリニック	中条中央病院
こばり坂クリニック	新潟手の外科研究所病院
大西医院神経内科・内科	○実習日 8／20(火)・8／21(水)・8／22(木)
潟東クリニック	
新潟西蒲メディカルセンター病院	
西蒲中央病院	
済生会三条病院	

早期医学体験実習について

新潟大学医学部医学科
医学教育学分野
岡崎 史子

2024 EME 1年生ガイダンス

今日の内容

1. 早期体験実習とはなにか
2. シラバスの説明

今日の内容

1. 早期体験実習とはなにか
2. シラバスの説明

早期体験実習とはなにか？

H3卒の私の時代には存在しませんでした。

そのころは、

- 1－2年生 教養教育
- 3－4年生 基礎医学～臨床基礎医学
- 5－6年生 臨床医学～臨床実習

→国家試験

実務は研修医になってからでよいという流れ

しかし、ゆっくりした医師養成がしづらくなってきた

1. 医師の不足
研修医には即戦力であってほしい、社会の要請
2. 医学教育のグローバル化
学生時代に「診療参加型臨床実習」を実施して、
臨床能力を高めるという国の方針
3. 修得すべき知識、技能が増えている
4. 様々な学修が前倒しになってきている

効果的な学修とは

1. 将来を見据えて勉強した方が、動機付けになる
2. ロールモデルに出会う重要性；モデリング
(学ぶは真似るから)
3. チーム医療に必要な、コミュニケーションなどのスキル
は早くから磨いた方がいい。
4. 高学年では疾患に偏りがちで、低学年の方が、人
としての患者さんをみるのにむしろ向いているかも

というような流れから、現在どの大学でも

早期体験実習が実施されています。中身は様々

- ・多職種との学び
(Ns、MSW、お掃除の職員、栄養士、薬剤など)
- ・多職種科学学生との学び
- ・地域医療機関での学び
- ・介護、福祉機関での学び

本学でなぜ、早期体験実習が重要なのか？

1. 患者さんを全人的にみる目を養うため
2. 職場で学ぶ態度を身につけるため
3. 医療が提供される場（地域）を理解するため
4. 先生方というロールモデルにぜひ出会ってほしい

なぜ早期体験実習が重要なのか？

1. 患者さんを全人的にみる目を養うため
2. 職場で学ぶ態度を身に着けるため
3. 医療が提供される場（地域）を理解するため
4. 先生方というロールモデルにぜひ出会ってほしい

生物・心理・社会モデル

地球—国—地域—家族—個人—臓器—細胞—原子



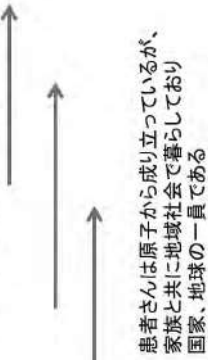
患者さんは原子から成り立っているが、
家族と共に地域社会で暮らしており
国家、地球の一員である

なぜ早期体験実習が重要なのか？

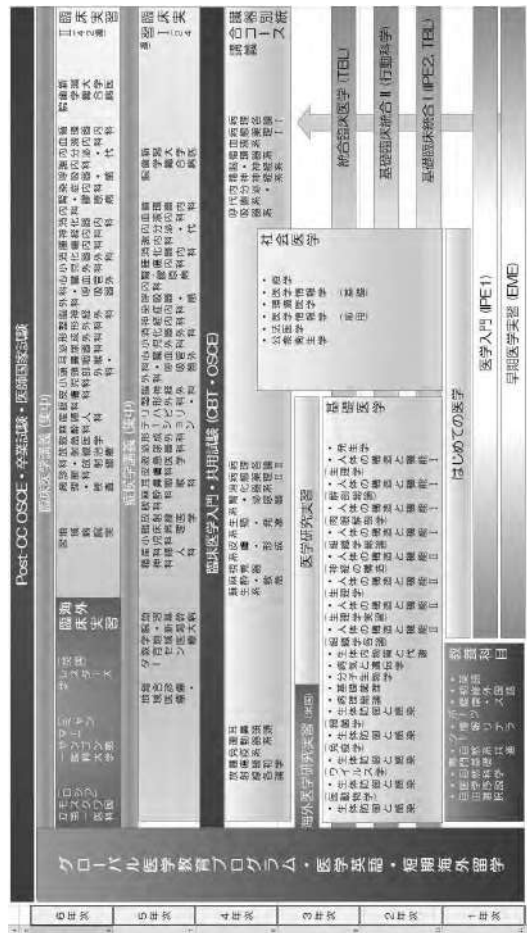
1. 患者さんを全人的にみる目を養うため

生物・心理・社会モデル

地球—国—地域—家族—個人—臓器—細胞—原子



患者さんは原子から成り立っているが、
家族と共に地域社会で暮らしており
国家、地球の一員である



なぜ早期体験実習が重要なのか？

1. 人間を全人的にみる目を養うため
2. 職場で学ぶ態度を身に着けるため
3. 医療が提供される場（地域）を理解するため
4. 先生方というロールモデルにぜひ出会ってほしい

臨床実習の分類

- 見学型実習 見学が主体
- 模擬診療参加型実習
患者が割り当てられる
学生の医行為は責任を伴わない
- 診療参加型実習
主治医チームの一番下に配属
初期研修医のような扱い

医師法改正

第 17 条の2第1項

大学において医学を専攻する学生が臨床実習を開始する前に修得すべき知識及び技能を具
有しているかどうかを評価するための共用試験
に合格した医学生について、法第 17 条の規定
にかかわらず、医師の指導監督のもとに一定
の医業を行うことができる
(処方箋の発行を除く)

令和5年4月1日より施行

ますます診療参加型臨床実習推進の方向へ

- 診療参加型臨床実習のためには、もちろん、診療技能、診療
についての知識をしっかり磨いてもらうことが重要ですが、
- そもそも、専門職の職場に入ることとはどういうことなのか
職場で学ぶとはどういうことなのかを臨床実習より前に、
身につけておく必要があります。

職場で必要な態度

- 挨拶
- 身だしなみ
- 指示に従う
- わからないことはわからないと言う
- スタッフ、患者との基本的コミュニケーション

これは、大学で授業しただけでは身につけません。
どうしても、実習の場が必要です。

なぜ早期体験実習が重要なのか？

1. 患者さんを全人的にみる目を養うため
2. 職場で学ぶ態度を身に着けるため
3. 医療が提供される場（地域）を理解するため
4. 先生方というロールモデルにぜひ出会ってほしい

医療にスタンダードはない

地域によって、提供される医療は異なる。

- 疾患が異なる
- 医療資源が異なる
- 住民から求められる医療が異なる

みなさんは卒業までの臨床実習で、ほとんど新潟県内
でお世話になります。

新潟大学医学部医学科の1年生

1. 40人が地域枠（うち県外が14名）
2. 100名のうち80が県外出身者

これから学ぶ医学、医療が、どのような場が必要とされて
いるのか、早くに地域を知ってもらい、学びにつなげたい。

なぜ早期体験実習が重要なのか？

1. 患者さんを全人的にみる目を養うため
2. 職場で学ぶ態度を身に着けるため
3. 医療が提供される場（地域）を理解するため
4. 先生方というロールモデルにぜひ出会ってほしい

一問を立てて、現場を見る一

1. 患者さんはどうして医療機関にかかるのか
2. 患者さんはどういう様子なのか
3. 患者さんのご家族はどういう様子なのか
4. 医師はどんな仕事をしているのか
5. 医師はどんな様子なのか
6. 医師以外の医療スタッフはどんな仕事をしているのか
7. 医療スタッフはどんな様子なのか

一問を立てて、現場を見る一

8. 医療機関はどういう場所にあるのか
9. 院内、クリニック内の様子はどうか

一考えてほしいこと一

1. 地域での医療とはどういうことなのか
2. 多職種連携とはどういうことなのか
3. 患者さんは何を求めているのか
4. 職場で学ぶためには、医学生には何がとめられているのか

先方にお伝えしていること

- 1. 医学部の実習はすべて、患者貢献であるべきです。なんでもいいのでお役に立たせてください。お客様扱いではなくて結構です。お掃除などさせても結構です。
 - 2. 可能でしたら、よい態度はほめ、改善すべきはご指導いただけただけらありがたいです。「挨拶がいいね！」「大きな声で挨拶してくれると患者さんも喜ぶと思うな」など。
 - 3. 万一皆様の業務の邪魔になるようでしたら、実習中止にして、大学に帰してください。→実習中止にしてくださいれば、こちらも指導の機会が得られます。
- これは困ると思ったら、中止にしてくださいさって結構です。

教育実践研究

早期臨床実習における医学生への不適切行動に対する
フィードバックの効果

岡崎 史子* 中村 真理子* 福島 純*

要旨：日本医科大学では早期臨床実習として医学部1-3年生まで様々な学外実習を行っている。その数施設から報告される学生の不適切な行動について本人に直接フィードバックしているがその長期的変化は明らかでない。
方法：平成31年度から翌年度の早期臨床実習期間の施設から報告された学生の不適切な行動と教師の反応について分析した。
結果：不適切な行動として「基本的学習態度の欠如」の実習に対する積極性・目的意識の欠如「コミュニケーション力」の不足が挙げられた。改善を受ける学生は1年次26名、2年次11名、3年次にはよくなった。医学部早期臨床実習におけるフィードバックは学生の今後の行動改善を促す可能性がある。
キーワード：プロフェッショナル教育、早期教育、地域医療教育、多職種連携教育、学生評価

Feedback for inappropriate behavior of medical students in early clinical aquasire.

https://www.jstage.jst.go.jp/article/mededjapan/43/5/43_397/_pdf/-char/ja

表1 学生の不適切な行動の内容

コアカテゴリ	カテゴリ	コード
基本的学習態度の欠如	遅刻	初日から遅刻者がいた
	居眠り	実習中に居眠りをする場面が見られました
	忘れ物	上履きを用意しない方がいた
	身だしなみ	ひげを剃るように注意しました
	言葉遣い	言葉遣いにに対して疑問を持っていました
	学生同士でたわむ	学生同士で談笑してしまっている姿が見られました
	ろ	学生5人で固まって話をしたり・・・
	気ままな実習態度	実習中にアムをためているものがいた
	度	携帯電話をいじったり、作業中に足を組む様子であったり・・・
	指示待ち、やる気のなさ	指示通りには動けるが、指示がないと動けない、自分で考えて行動することが苦手 当初「実習させられている」態度が分かった
積極性・目的意識の欠如	目的意識の欠如	実習に対する意欲を持って実習に臨んでいない 実習で何を学びたいのかはつきりしない 意義を十分に理解して実習を行っているようには感じられなかった 学生の目的意識が薄い奴がいます
	声量	相手に聞くような大きな声を出せるとよかった 挨拶が入る大きな声でできるようになってほしいと思います
	文字	文字を丁寧に書いてほしいです
コミュニケーション力の不足	コミュニケーション	利用者のコミュニケーションに関しては積極性に欠けるところもありました

今日の内容

- 1. 早期体験実習とはなにか
- 2. シラバスの説明

科目の概要

医学部での学習の開始にあたり、地域社会における医療の役割を学ぶために、主に新潟県内（新潟市、長岡市、燕市、三条市等）の医療機関などで実習を行う。大学病院を含む。

この科目は正規の専門教育に関する必修科目です。

科目のねらい

- 医学学習の開始にあたり、医療の現場に接し、地域社会における医療の役割や重要性を理解する。
- 多職種連携のあり方について知る。
- 医学生として、臨床現場での立ち居振る舞いを実践する。

科目の到達目標

- ① **医療安全、感染対策**に関する知識を理解し、医療施設見学において**実践**することができる。
- ② 各医療分野の**スタッフの職務内容**と**スタッフ間の連携**について、説明することができる。
- ③ 実習の現場で**礼儀正しく行動**することができる。
- ④ 実習の現場で接する人々と**良好なコミュニケーション**を保つことができる。
- ⑤ **グループ学習**を効率良く行うことができる。
- ⑥ 実習内容について、簡潔に**わかりやすく発表**することができる。
- ⑦ 発表された事項の**意義や問題点**について、**自らの意見や考えを明瞭に述べる**ことができる。

遅刻、欠席について

- ・遅刻は基本的に許しませんが、交通機関の遅延などでの遅刻の場合には、必ず事前に実習先と学務系の両方に連絡をいれください。
- ・体調が悪い、熱があるなどの時には決して実習に行つてはいけません。
- ・患者さん、スタッフにもしも感染させるようなことがあってはなりません。
- ・

実習の評価	
実習先からの態度評価	20%
自己評価	30%
レポート評価	50%
ガイダンスや実習への無断の遅刻・欠席は許しません（遅刻した場合は実習への参加を認めない）。 医療機関での実習で、スタッフの業務を妨げる行為があった場合は、実習を中止する（そのような行為であったかどうかは聴き取りの上、岡崎が判断する）。 実習先からのコメントによっては、教員と面談する場合があります。面談に応じない場合は単位を認定しない。	

実習先の評価	
※正当な理由のない遅刻・欠席は論外です。 ・礼儀正しさ ・身だしなみ ・積極性 ・地域医療・多職種連携に対する理解 ・スタッフとのコミュニケーション 5段階評価をいただきます。 ・その他、フリーコメントをいただきます。	

自己評価	
・礼儀正しさ ・積極性 ・地域医療・多職種連携に対する理解 ・スタッフとのコミュニケーション ・グループワークの参加度 の5項目について、5段階評価してもらいます。	

レポートについて	
1. 観察ノートの提出（9月18日まで） 毎日、観察ノートをメモ書きでよいのでつけてください。その日の実習の終わりに、その日わかったこと、気づいたこと、わからなかったこと、翌日よく観察しようと思うこと、体験しようと思うことを書きます。	

レポートについて

2. 事後レポート A4 1枚程度：メール添付可
(1200～1600字)
- レポートは感想文ではなく、実習での体験を深く省察していることが求められる。学年相当でないと岡崎が判断した場合は書き直しを求める場合がある。レポートは実習先に送付するので、個人情報情報の取り扱いには十分注意すること
- 締め切り：9月18日17時 遅れたら受け取りません
- 8月23日に、GWのあと、仕上げることをお勧めします。

交通費一部補助の取扱

1. 新潟市内（郊外を除く）の医療機関で行うものについては支給しない。
2. 交通手段はバス、JR等公共交通機関とする。例外は認めない。
3. 交通費の算定については実際に利用した交通機関にかかわらず、学務係で行う。
4. 利用（支出）可能な交通機関はJR、高速バス、路線バスとし、所要時間と料金を勘案して決定する。

宿泊について

1. 湯沢保健医療センター 病院に宿泊あり
2. 県立中央病院 院内に宿泊あり、前日高田駅からタクシーに乗って病院へ行く
3. 十日町病院 旅館が確保されている
4. 三条、長岡は通ってください

日程

- 8月19日 ガイダンス
- 8月20日から22日 実習
- 8月23日 まとめ（大学）

是非、楽しく、そしてしっかり学んでください

地域において、医師とはどういう職業かよく見てください。

医師以外の職種がどのように仕事しているかも、ぜひ、みてください。

患者さんに出会える場所では、患者さんの様子をよく見てください。

お話しさせてもらえるようなら、積極的に患者さんとお話しましょう。

皆さんは、大学生ではなく、医学生です。これは、社会から見ると大きな違いです。その自覚をもって、この実習に取り組んでください。

fokazaki@med.niigata-u.ac.jp

8月23日の予定

午前中：

1. 観察ノートをお互いに見せながら、何に気づいたのか、わかったこと、驚いたこと、よくわからなかったことなどをグループ内で発表し、他の医療機関と何が違うのかあるいは同じなのかを共有する。

2. ワールド・カフェ 4つの視点で実習を振り返る

・新潟という地域はどういう地域なのか

・多職種連携という視点で感じたこと

・医師という職業はどんな職業なのか

・医学生に求められる、職場での振る舞い

午後

1. 全体発表

2. 自己評価